

● 取組事例詳細

企業／団体名称	ひざつき製菓株式会社
主要業種	食料品製造業

公開日：2009年11月26日

「協働の着眼点」に照らした取組内容（「ベーシック16」）

1 お客様を基点とする企業姿勢の明確化

毎週商品会議を行い、お客様が求める商品の調査及び開発を協議している。また、各部門、各従業員の役割を定め明確化している。従業員の意識を高めるため、定期的に社内掲示やミーティングを実施し社内への浸透を図っている。



ひざつき製菓 工場外観

2 コンプライアンスの徹底

法令、基準改正時には、関係部門及び品質管理責任者が相互にチェックを実施している。表示に関しては品質管理責任者が対応の要否を検討し、判断に迷う場合には行政機関や保健所に問い合わせしている。表示の遵守の確認は、関係部署及び品質管理部門で行っている。

社内に関するコミュニケーション

3 安全かつ適切な食品の提供をするための体制整備

異物混入への対策としては、原材料メーカーへの依頼及び社内設備の改善を実施している。各工程に金属検出機や異物除去装置の設置及び、目視検品を実施して異物混入が検出された場合には、速やかに所属長に報告される仕組みとなっている。また、品質管理会議で、実施状況の確認をしている。

4 調達における取組

原材料の新規購入時は、自社製の原材料規格保証書を取り寄せ、自社の基準に適合している事を確認してから購入している。また、必要に応じ取引先の視察及び指導の実施、自社での分析を実施して安全性を確認している。既存原材料は年1回及び、内容変更時に原材料規格保証書の更新及び分析を実施している。

5 製造における取組（製造）

保管・流通における取組（卸売）

調理・加工における取組（小売）

工場の扉を二重扉にし、シャッターは高速の自動シャッターを設置し、有害小動物及び昆虫類の侵入を防止している。その他、昆虫類対策としては、委託している防虫業者と共に5S活動に取り組み、内部発生や外部進入を防止している。

6 販売における取組

販売部門と製造部門で協議し、商品ごとの生産ロット及び生産ポイント作成し、商品在庫を管理している。



品質へのこだわりが光る自慢の豆大福

取引先に関するコミュニケーション

7 持続性のある関係のための体制整備

トレースの重要性やお客様の求める安全性などを、同じ視点で共有できるよう、関係業者との意見交換会を実施している。

8 取引先との公正な取引

取引先の視察や原材料の初回生産時の立会いなどの取組をしている。また、協力関係のなかで互いの品質向上や利益が出るような仕組み作りを目指している。

9 取引先との情報共有、協働の取組

原料高騰時期は、原材料のロット・リードタイム・材質等コスト削減方法を原材料メーカーと協議し、お互いが成長できるような取組をしている。

お客様に関するコミュニケーション

10 お客様とのコミュニケーションのための体制整備

お客様からの問い合わせへの対応は、早急に全社に知らせるべきと判断した情報や、他社の事故例などは朝礼やミーティングでの連絡と、社内掲示板で従業員がお客様の声に敏感になるようにしている。

11 お客様からの情報の収集、対応、管理

お客様からの情報を収集するため、インターネットのホームページで意見を受け付けている。また、取引先を通じて得られたお客様からの情報は、品質管理会議等で情報の共有化を図っている。

12 お客様への情報提供

商品に使用した原材料は、お客様に分かりやすいように表示している。また、お客様からの質問に対し速やかに対応できるように、商品ごとに使用原材料等の詳細情報を取りまとめている。

13 食育の推進

子供たちに米菓を知ってもらうため、地域小学校の社会科副読本への掲載や工場見学の実施及び、中・高校生の職場体験学習への取組を実施している。

緊急時に関するコミュニケーション

14 緊急時を想定した自社体制の整備

緊急時の対応に備え、自社の緊急時対応マニュアルに従い定期的に教育訓練及び、模擬訓練を実施している。

15 緊急時の自社と取引先の協力体制の整備

原材料規格保証書の更新を定期的実施することで、取引先と連絡を取り合うように取組をしている。

16 緊急時のお客様とのコミュニケーション体制の整備

自社の緊急対応マニュアルに従い、実施している。

※FCP事務局(注)

上記1～16の取組内容は、平成20年12月19日時点のものです。